2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

④原材料予熱型工業炉導入に伴う安全性と生産効率の向上

ユニオン機工株式会社（岐阜県恵那市／製造業）

【HP】http://www.union-kikou.co.jp/　【備考】代表申請者　八十二リース株式会社（長野県長野市／リース会社）

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6%を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体（指定リース事業者）
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6% 補助上限： 1リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

④原材料予熱型工業炉導入に伴う安全性と生産効率の向上

事業の概要

補助金額	補助金額	約61万円
	補助率	4%
導入設備	従前設備	なし(増設のため)
	導入設備	原材料予熱型工業炉
事業期間	稼働日	2025年1月
備考	導入台数	1式



原材料予熱型工業炉

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約465（万円／年）

CO_2削減効果

約135（t-CO_2／年）

投資回収年数

3.3（年）→ **3.1**（年）

CO_2削減コスト

0.06（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **既存設備と比べ、新規設備は炉隙間からの火漏れがなくなり、安全性が向上した。**
- **増設前は、溶解時にアルミの不純物が炉壁面に付着し生産効率が落ちていたが、更新後は不純物の付着が減り生産効率が上がった。**

※ エネルギーコストは、LPG単価：91,240円／t(出典：大阪ガスHP)を用いて試算したものである。

事業者の声



麥島 彰太｜ユニオン機工株式会社　取締役

本事業により、エネルギーコスト及びCO_2排出量の削減に加え、安全性と生産性も向上させることができました。これらは環境、お客様、当社従業員と多方面に良い結果になったと実感しております。

今後も引き続き、サステナブル社会の実現に向けて取り組んでまいります。